



# SBSビジネスレポート

2020年12月期 期末株主通信

2020年1月1日～2020年12月31日

社長メッセージ

連結業績

特集

トピックス

SBSグループの社会貢献

会社概要&株式の状況



SBSホールディングス株式会社

## SBSフレックネットが 「ベトナム人技能実習生」を受け入れ

SBSフレックネットでは、ベトナム人技能実習生の受け入れを2020年から開始しました。国が定める「外国人技能実習制度」に基づく取り組みで、同制度による実習生受け入れに長く携わってきた「みらい共生協同組合」のご協力のもと実現しました。

この取り組みは、ベトナムの経済発展を担う人材育成への寄与を主目的とし、11カ月の実習期間で食品物流ノウハウの習得を図るものです。それとともに、地域の皆さんとの交流を通じて国際的な相互理解にも努めていきます。2020年には第1期生として計12名の実習生を受け入れました。今後も定期的に行っていく予定です。

### 2020年4月に第1期生が実習を開始

第1期生が、2020年4月1日からSBSフレックネット北九州営業所に配属されました。初日のオリエンテーションでは、社長からの歓迎挨拶のあと、2018年入社ベトナム人社員がベトナム語で、取り扱い商品について座学と現場での実習を行いました。

実習生たちはその後、11カ月にわたってチルド庫での仕分け業務を学びました。来日直後から新型コロナウイルス感染症が急拡大する中での実習となり、当初予定していた2021年2月の帰国もコロナ禍で延期を余儀なくされました。SBSフレックネットでは生活環境も含め、1期生の皆さんに最大限のサポートをしております。また同月にはさらに2期生7名も配属され、1期生とともに19名で現場作業に臨んでいます。帰国後は実習の成果を生かして、ベトナムの次世代物流を担うリーダーとして活躍していただけることを願っています。



みらい共生協同組合 代表理事

木下 征 様

近年、ベトナムは経済発展が著しく、国民の生活水準も上昇してきています。今後は国内のさまざまなインフラ整備が急務となることが見込まれており、物流もそうしたインフラの重要な一部です。今回の技能実習生の皆さんには、帰国後、SBSフレックネットで学んだ最新の物流ノウハウを活用し、プロとしての誇りを持ってベトナムの物流網の発展に貢献していただきたいですね。

異なる文化を持つ国からの技能実習生の受け入れは、受け入れ側の会社の理解がなければ実現できません。SBSフレックネットの皆さまにはご苦勞もおかけしていますが、今後もこの意義深い国際交流事業にご協力をいただければと思います。



技能実習生(1期生)

チャン ハウ カット さん

物流システムでチルド庫の食品のバーコードを読み取って、地域のスーパー向けに仕分けをしています。私のあとから来た2期生はまだ仕事に慣れていないので、同じベトナム人の先輩として、「大切な商品だから丁寧にきれいに扱うこと」「仕事中はおしゃべりをしないこと」といった心得を伝えています。また、「漢字の読み書きができないと仕事が遅くなるので、しっかり勉強しましょう」とも呼びかけています。

職場には良い人が多く、いつも助けてもらっています。とても働きやすいので、私は将来、ベトナムに帰国した後も日本語を学び続けて、再び日本に戻りSBSフレックネットで働きたいと思っています。



技能実習生(2期生)

チャン ティ フオン さん

チルド庫で出荷する食品を仕分けする業務を担当しています。職場には、いつも熱心に仕事を教えてくれる優しい人が多く、毎日楽しく働くことができています。仕事においては、仕分けする数を間違えないよう、必ず数え直して確認するようにしています。また、重いものは丁寧に扱うようにも気を付けています。休憩時間に、日本人とコミュニケーションを取るのも楽しみの1つで、たまにお菓子をもらったりすると、とてもうれしくなりますね。

ベトナム帰国後は、ここで学んだ技能と日本語を生かして、食品物流の仕事に就けたらと思っています。仕事をしっかり身に付けられるよう、最後まで頑張ります！



現場責任者/SBSフレックネット 北九州営業所

山本 龍二 副所長

日ごろから相手の顔と目を見ながら声がけをするなど職場環境づくりに努めていますが、特に技能実習生とはこまめなコミュニケーションが欠かせません。実習生3名ごとに指導者1名で作業手順などを丁寧に指導しているほか、業務で用いる商品名や地名などの文字の書き方について、独自の教材で毎日30分ほどの練習を行っています。仕事に慣れると基本を忘れがちなので、常に基本に立ち戻ったルールの確認・指導も心がけています。

今後は、実習生のスキルアップが海外取引の拡大につながると願っています。また、実習終了後に日本で働くことを望む実習生の受け入れ体制も整えていきたいですね。

# 新型コロナ禍においても 物流需要の拡大に積極対応し、 売上高・営業利益とも 3期連続過去最高を更新しました

代表取締役社長 鎌田 正彦



## 当期(2020年12月期)の業績について

当期は、新型コロナウイルス感染症の拡大による世界的な経済活動の抑制や輸出入の減少が続くなか、物流業界も企業間物流の需要減少など、厳しい経営環境に直面しました。他方、外出自粛に伴う「巣ごもり消費」を背景に、食品・日用品など生活必需品やネット通販の需要拡大が続いており、SBSグループはお客様、取引先ならびに従業員の感染防止と安全確保を最優先に取り組みながら、こうした需要に応えるべく積極的な対応を図ってまいりました。

2020年11月、弊社は東芝ロジスティクス(株)(現SBS東芝ロジスティクス(株))の株式66.6%を取得し連結子会社としました。これによってSBSグループは、サービスラインナップのさらなる拡充と海外ネットワークの強化を図り、物流サプライチェーンをさらに強固にサポートする体制を整えました。

当期の業績に関しては、物流事業の収益はほぼ横ばいの一方で、不動産事業の収益増加が寄与し、売上高は2,571億92百万円(前期比+0.6%)、営業利益は109億60百万円(同+7.7%)となり、連結売上高・営業利益ともに3期連続で過去最高値を更新しました。

## 今後の事業活動について

物流事業では、EC市場のさらなる拡大やLT(Logistics Technology)を活用した技術革新が急速に進み、ビジネス

モデルが構造的に変化していくと見込んでいます。SBSグループではこれらを視野に、物流・M&A・物流施設開発をバランスさせながら成長してきた独自のビジネスモデルを継続しつつ、IT・LT技術への積極投資や異業種との協業を加速することで競争力を高め、物流業界のトップティアを目指してまいります。

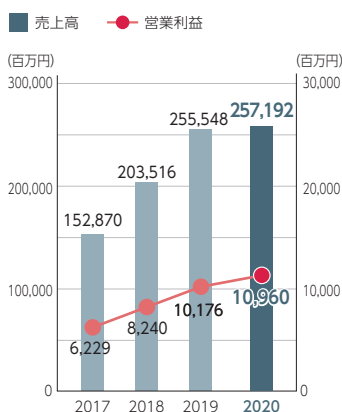
2021年12月期は、営業活動をさらに強化し、需要が旺盛な生活必需品やネット通販の取り込みに引き続き積極的に取り組んでまいります。さらに、新規連結した東芝ロジスティクス(株)の業績寄与と、物流不動産の流動化も織り込んだうえで、売上高3,800億円、営業利益150億円、経常利益148億円、親会社株主に帰属する当期純利益84億円と増収・増益を計画し、これを達成するべくグループ一丸となって事業活動と成長戦略に取り組んでまいります。

## 配当について

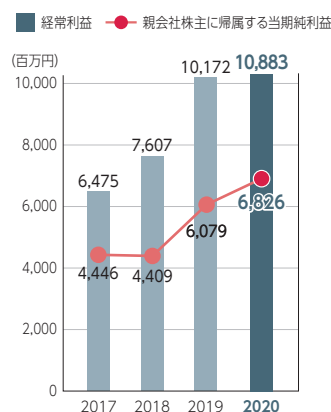
当社は株主の皆様への利益還元を経営の重要施策のひとつと位置付け、より強固な経営基盤構築のため内部留保の充実を図るとともに、継続的な配当維持と業績に応じた配当水準の向上に努めることを利益配分に関する基本方針としております。当期においては、堅調な業績を鑑みて、1株当たりの配当金を予想から3円増配し35円とさせていただきます。株主の皆様には今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 当期の連結業績

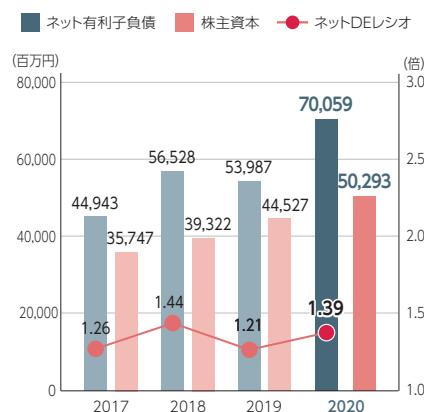
### 売上高／営業利益(右軸)



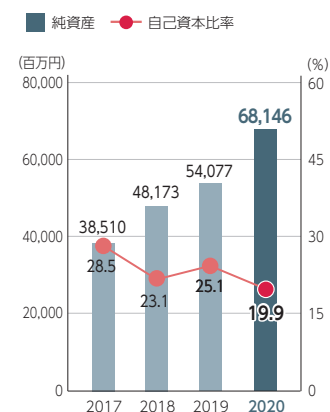
### 経常利益/親会社株主に帰属する当期純利益



### ネット有利子負債/株主資本/ネットDEレシオ(右軸)



### 純資産/自己資本比率(右軸)



※ネット有利子負債=長期・短期借入金+社債-現預金  
※ネットDEレシオ=ネット有利子負債÷株主資本

## 国内物流企業のトップグループへ躍進!

### 「SBS東芝ロジスティクス株式会社」が、2021年1月1日から始動します。

#### SBSグループの成長を着実に牽引する他に類を見ないM&A戦略

SBSグループは、2003年の上場直後から、SBSフレック(旧雪印物流)、SBSロジコム(旧東急ロジスティック)、SBSリコーロジスティクス(旧リコーロジスティクス)など、日本を代表する企業のロジスティクスを一手に担う物流企業を中心に、20社を超えるM&Aを行い業容拡大してまいりました。

1987年創業の歴史が浅いベンチャー企業・SBSグループにとって、M&Aは単に売上高を嵩増しするだけの手段ではありません。多岐にわたる「物流サービスの拡充」、ナショナルブランド企業の「高い知見と優秀なDNAを持つ“タレント”」との融合を通じ高い付加価値を生み出す、ロジスティクスの“メガベンチャー”に、必要不可欠な施策のひとつです。

#### SBS東芝ロジスティクスについて

SBS東芝ロジスティクスは、エネルギーに関わる社会インフラ、半導体、IT、家電などを対象とし、グローバルネットワークを駆使して物流サービスを展開しています。東芝グループと一体となって築いてきた「4PL」\*を強みとしています。

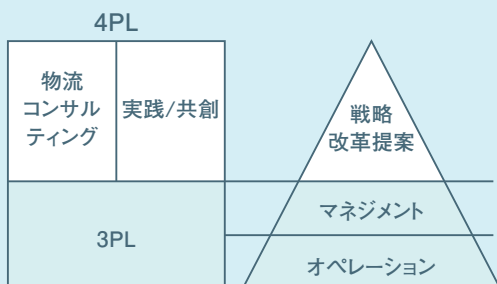
4PLは、SBSリコーロジスティクスやSBSロジコムなどでも従来から対応してきた領域ではありましたが、東芝ロジスティクスの参画により、SBSグループの主要なソリューションとして規模や業種を問わず、しかも世界中のお客様へ提案が可能になります。

#### ※4PL (Fourth Party Logistics) とは?

サプライチェーン全体の視点に立ちロジスティクス戦略の企画・推進を行うコンサルティングを、3PL(物流オペレーションとそのマネジメントを包括して受託)に付加したソリューション。お客様の経営戦略に添った戦略立案から携わることで、物流の側面から経営課題解決をサポートします。

#### 4PLのメリット

- ① サプライチェーン全体の可視化により潜在的な課題を発見
- ② 物流費削減に留まらず、在庫や固定資産の圧縮に関する改善施策を提案します
- ③ 物流部門の人材を成長分野に再配置できます



#### 多様性が競争力の源泉。

#### ユニークなSBSグループのPMI

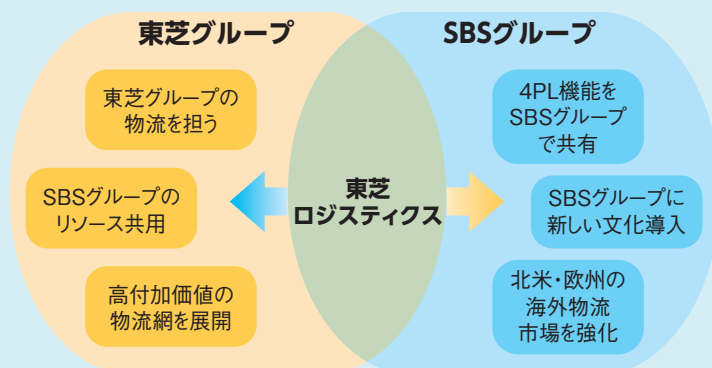
SBSグループでは、M&Aの“肝”は合意に至るプロセスではなく、成立後のPMI(Post Merger Integration)のフェーズにあるとし、唯一無二のユニークな運営を行っています。

倉庫、車両、システムなどの経営資源をグループ全体で共有化しコスト抑制を進める一方で、グループ各社の経営の自主性や社風を尊重し、経営陣や従業員の雇用制度、取引先との関係などは従来路線を維持しています。リソースの共有化によって生じる余力を新たな成長領域へ振り向けていくというスタンスです。

各社の長い時間をかけて培ってきた組織のDNAは大切に、グループ全体としては、多様な価値観の交わりから創出される価値を追求してまいります。

#### SBSリコーロジスティクスのPMIの例 (2018年8月～、SBSグループへ)

- 経営資源を共有：  
基幹システムの統合、拠点統合、現場の共同運営
- 新たな価値創出：  
営業部門や情報システム部門の拡大、グループ間再編、新規拠点の開設、グループ内人材交流





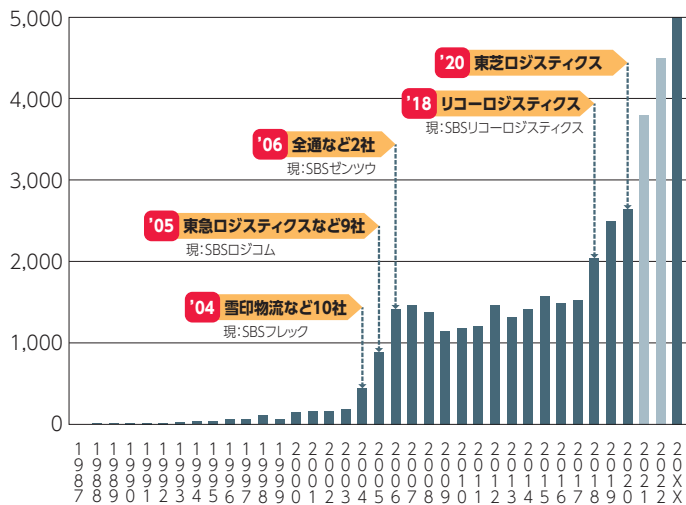
## ベンチャーのDNA「挑戦」と「スピード」を強みに、SBSグループは新たな次元へ

「物流はインフラ産業。したがって、より多くのお客様に貢献するためには、規模を拡大しなくては実現しない」——“規模の拡大”は、SBSグループの創業時からの信念であり悲願でもありました。

SBS東芝ロジスティクス連結後のSBSグループは、空運、海運、鉄道を除く国内物流企業で10位以内、また、3PL事業者の中では5位以内にランクインする見通しです。

今後は、国内物流大手の一角として、より幅広いお客様の物流を担うプロフェッショナル集団へと、飛躍的に成長してまいります。

(売上高/億円)



## トピックス



1月

### 東京大学寄付講座開設

SBSグループ

物流業界の抱える課題解決に寄与するため、他社2社と共同で東京大学先端科学技術研究センターに先端物流科学寄附研究部門を設置。高度物流人材の育成のための教育を開始しました。



2月

### 「(仮称)横浜金沢物流センター」起工式

SBSロジコム・SBSリコーロジスティクス

SBSロジコム横浜金沢支店の物流施設3棟のうち2棟を解体し、新設。2021年7月に竣工予定で、SBSリコーロジスティクスと大規模3PLの共同運営を開始し、両社の強みを融合した高次元の3PLサービスの実現を目指します。



3月

### 成長戦略を加速するための組織改編

SBSホールディングス

ロボット技術、AI、RPA等に象徴される技術開発の重要性が増すことに備え、4月に成長戦略を加速するための組織を改編。IT戦略の企画・立案を図る「IT企画部」や、ロジスティクステクノロジー分野への取組みを担う「LT企画部」を新設しました。



8月

### 日ノ丸急送社の株式を取得

SBSフレック

3温度帯の食品物流を中心として、四国一円に配送ネットワークを展開している株式会社日ノ丸急送の株式一部(持株割合49%)を取得。配送ネットワークの強化、サプライチェーンマネジメントへの対応力強化などで高いシナジー効果が期待できます。



11月

### 「日本物流未来ファンド」、第一号の投資先が決定

SBSホールディングス

株式会社日本政策投資銀行と共同設立した「日本物流未来ファンド」において、初の投資契約を締結。千葉県及び東京都東部でネットスーパー配送、ルート便、などの軽貨物運送を営む株式会社アイアンドアイ千葉中央への投資を決定しました。



# 会社概要&株式の状況

## 会社概要

社名 SBSホールディングス株式会社  
代表取締役 鎌田 正彦  
創立 1987年12月16日  
資本金 39億200万円  
売上高 2,571億円(連結) ※2020年12月期  
所在地 〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3  
TEL:03-3829-2222(代表) FAX:03-3829-2822  
事業内容 物流事業、不動産事業、マーケティング事業、人材事業 他  
連結子会社  
2021年1月1日  
SBS東芝ロジスティクス(株)  
TLロジサービス(株)  
東芝物流(上海)有限公司 東芝物流(杭州)有限公司  
東芝物流(大連)有限公司 東芝物流(香港)有限公司  
TOSHIBA LOGISTICS (THAILAND) Co., Ltd. TOSHIBA LOGISTICS VIETNAM Co., Ltd.  
TOSHIBA LOGISTICS AMERICA, Inc. TOSHIBA LOGISTICS EUROPE GmbH  
SBSリコーロジスティクス(株)  
SBS三菱ロジスティクス(株)  
RICOH LOGISTICS CORPORATION RICOH INTERNATIONAL LOGISTICS (H.K.) Ltd.  
理光国際貨運代理(深圳)有限公司  
SBSロジコム(株)  
SBSフレイトサービス(株) SBSグローバルネットワーク(株) SBSロジコム関東(株)  
SBSフレック(株)  
SBSフレックネット(株)  
SBSゼンツウ(株)  
SBS即配サポート(株)  
SBSスタッフ(株)  
SBSファイナンス(株)  
SBSアセットマネジメント(株)  
(株)エルマックス  
マーケティングパートナー(株)

## 役員 (2021年3月25日付)

|       |       |              |       |
|-------|-------|--------------|-------|
| 代表取締役 | 鎌田 正彦 | 社外取締役        | 岩崎 二郎 |
| 取締役   | 入山 賢一 | 社外取締役        | 関本 哲也 |
| 取締役   | 泰地 正人 | 社外取締役        | 星 秀一  |
| 取締役   | 田中 康仁 | 取締役(常勤監査等委員) | 山下 泰博 |
| 取締役   | 若松 勝久 | 社外取締役(監査等委員) | 松本 正人 |
| 取締役   | 加藤 元  | 社外取締役(監査等委員) | 辻 さちえ |
| 取締役   | 佐藤 広明 |              |       |

## 株式の状況

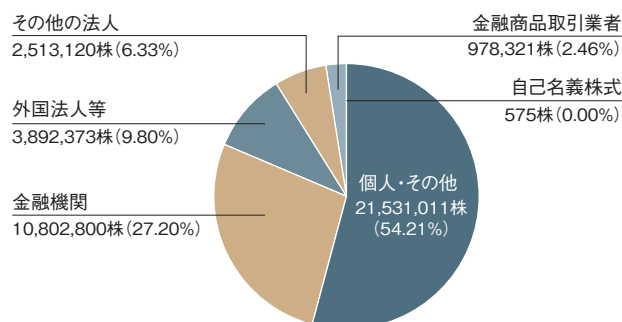
発行可能株式総数 154,705,200株  
発行済株式の総数 39,718,200株 単元未満株 2,590株含む  
単元株制度の有無 有(100株)  
株主数 3,911名

## 大株主の状況

| 株主名                      | 持株数        | 持株比率(%) |
|--------------------------|------------|---------|
| 鎌田 正彦                    | 14,388,400 | 36.22   |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口)       | 5,156,200  | 12.98   |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)  | 1,575,700  | 3.96    |
| SBSホールディングス従業員持株会        | 1,354,100  | 3.40    |
| 特定有価証券信託受託者 株式会社SMBC信託銀行 | 1,200,000  | 3.02    |
| 三井住友信託銀行株式会社(信託口 甲13号)   | 1,000,000  | 2.51    |
| 東武不動産株式会社                | 986,000    | 2.48    |
| 大内 純一                    | 800,000    | 2.01    |
| 和佐見 勝                    | 576,700    | 1.45    |
| 伊達 寛                     | 449,800    | 1.13    |

※発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数第3位を切り捨てて表示しております。

## 所有者別株式分布状況 (発行済株式総数:39,718,200株)



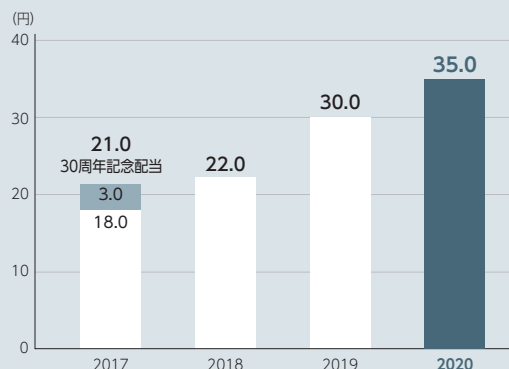
## 株主メモ

- 事業年度  
1月1日～12月31日
  - 期末配当金受領株主確定日  
12月31日
  - 定時株主総会  
毎年3月開催
  - 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関  
三菱UFJ信託銀行株式会社
  - 同連絡先  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1  
TEL. 0120-232-711 (通話料無料)  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
  - 上場証券取引所  
東京証券取引所 市場第一部
  - 公告方法  
公告掲載URL <https://www.sbs-group.co.jp/>
- ※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。

## ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 配当金の推移



UD  
FONT

 SBSホールディングス株式会社

〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3 オリナスタワー  
TEL:03-3829-2222(代表) FAX:03-3829-2822